

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年8月6日

【四半期会計期間】 第66期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

【会社名】 アトムクス株式会社

【英訳名】 ATOMIX CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 小林 和幸

【本店の所在の場所】 東京都板橋区舟渡三丁目9番6号

【電話番号】 03(3969)3111

【事務連絡者氏名】 管理統括部長 富士田 学

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田富山町18番地

【電話番号】 03(5297)1801

【事務連絡者氏名】 管理統括部長 富士田 学

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第65期 第1四半期連結 累計期間	第66期 第1四半期連結 累計期間	第65期
会計期間	自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 6月 30日	自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 6月 30日	自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月 31日
売上高 (千円)	2,108,069	2,594,670	10,516,035
経常損益(は損失) (千円)	24,178	48,318	344,402
四半期(当期)純損益 (は損失) (千円)	32,499	1,309	139,358
四半期包括利益又は包 括利益 (千円)	12,970	32,281	146,388
純資産額 (千円)	8,770,494	8,877,714	8,929,853
総資産額 (千円)	13,158,693	13,127,650	13,518,129
1株当たり四半期 (当期)純損益金額 (は損失) (円)	3.84	0.15	16.50
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	66.7	67.6	66.1

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2 売上高には、消費税等は含まれていません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社、以下同じ)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

主要な関係会社の異動については、次のとおりです。

当第1四半期連結累計期間において、連結子会社であった阿童木(廊坊)塗料有限公司は平成24年5月25日に清算結了したことにより、連結の範囲から除外しています。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要などから緩やかな回復傾向がみられますが、電力供給の不安定な状況、デフレ経済の長期化など依然として先行きは不透明な状況です。

このような状況のもと、当社グループは、主力製品である道路用・建築用・家庭用塗料を中心とした販売網の拡充や新規開拓及び新製品上市による競争力の強化に努めてきました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高25億94百万円（前年同期 売上高21億8百万円）、営業利益48百万円（同 営業損失20百万円）、経常利益48百万円（同 経常損失24百万円）、四半期純利益1百万円（同 四半期純損失32百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

< 塗料販売事業 >

道路用塗料は復興関連の公共事業の先行発注により、東北地方への出荷量が伸びました。建築用塗料は工場及び厨房の床塗装工事の受注を増やすことができたため、床用塗料の出荷量を伸ばすことができました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の塗料販売事業の売上高は前年同期に比べて3億69百万円増加し、24億42百万円（前年同期比17.8%増）となりました。

< 施工事業 >

当第1四半期累計期間に前期末仕掛であった工事が完成し、売上計上した影響により、施工事業の売上高は前年同期に比べて1億17百万円増加し、1億51百万円（前年同期比343.2%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、131億27百万円（前連結会計年度末比3億90百万円減少）となりました。これは主に流動資産の減少によるもので、現金及び預金で1億9百万円、受取手形及び売掛金で2億70百万円減少したためです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は42億49百万円（同 3億38百万円減少）となりました。これは主に流動負債の減少によるもので、支払手形及び買掛金で46百万円、未払法人税等で1億43百万円、引当金で1億31百万円減少したためです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は88億77百万円（同52百万円減少）となりました。これは主に利益剰余金からの配当（84百万円）によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は49百万円で、遮熱塗料などの機能製品の性能向上、防水材の耐汚染性の向上、コーティング材の開発など全て塗料販売事業の研究開発に投入しました。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年8月6日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,440,000	9,440,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	9,440,000	9,440,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年4月1日 ~平成24年6月30日		9,440,000		1,040,000		680,400

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 997,000		単元株式数 1,000株
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,439,000	8,439	同上
単元未満株式	普通株式 4,000		
発行済株式総数	9,440,000		
総株主の議決権		8,439	

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
アトミクス株式会社	東京都板橋区舟渡3-9-6	997,000		997,000	10.56
計		997,000		997,000	10.56

2 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の変動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人保森会計事務所による四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,196,902	2,087,424
受取手形及び売掛金	² 4,724,184	² 4,453,976
商品及び製品	966,119	998,368
仕掛品	190,506	202,060
原材料及び貯蔵品	464,731	463,527
その他	266,558	230,136
貸倒引当金	89,853	88,931
流動資産合計	8,719,148	8,346,562
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,744,050	2,744,050
その他(純額)	1,317,827	1,313,114
有形固定資産合計	4,061,877	4,057,165
無形固定資産	151,629	149,734
投資その他の資産	¹ 585,472	¹ 574,188
固定資産合計	4,798,980	4,781,087
資産合計	13,518,129	13,127,650
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	² 2,767,978	² 2,721,099
短期借入金	342,844	342,844
未払法人税等	152,908	9,185
引当金	212,253	80,842
その他	² 475,085	² 496,679
流動負債合計	3,951,069	3,650,650
固定負債		
長期借入金	142,936	107,225
退職給付引当金	268,425	265,934
引当金	119,177	118,789
資産除去債務	38,390	38,528
その他	68,277	68,807
固定負債合計	637,206	599,285
負債合計	4,588,275	4,249,935

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	680,400	680,400
利益剰余金	7,601,695	7,518,584
自己株式	380,175	380,175
株主資本合計	8,941,920	8,858,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,996	33,049
為替換算調整勘定	56,062	14,143
その他の包括利益累計額合計	12,066	18,905
純資産合計	8,929,853	8,877,714
負債純資産合計	13,518,129	13,127,650

(2)【四半期連結損益及び包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高		
商品及び製品売上高	2,073,839	2,442,961
工事売上高	34,230	151,709
売上高合計	2,108,069	2,594,670
売上原価		
商品及び製品売上原価	1,413,606	1,681,899
工事売上原価	29,501	142,932
売上原価合計	1,443,107	1,824,832
売上総利益	664,962	769,838
販売費及び一般管理費	685,890	721,782
営業利益又は営業損失()	20,928	48,056
営業外収益		
受取利息	98	24
受取配当金	3,072	3,235
その他	2,662	4,187
営業外収益合計	5,833	7,447
営業外費用		
支払利息	2,709	1,759
為替差損	4,224	5,424
貸倒引当金繰入額	2,150	-
営業外費用合計	9,084	7,184
経常利益又は経常損失()	24,178	48,318
特別損失		
固定資産除却損	99	125
子会社清算損	-	11,237
ゴルフ会員権評価損	1,100	-
リース解約損	-	2,151
特別損失合計	1,199	13,514
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	25,377	34,804
法人税、住民税及び事業税	9,536	8,775
法人税等調整額	2,414	24,719
法人税等合計	7,121	33,495
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	32,499	1,309
四半期純利益又は四半期純損失()	32,499	1,309
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	32,499	1,309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,890	10,946
為替換算調整勘定	16,638	28,250
その他の包括利益合計	19,529	17,303
四半期包括利益	12,970	18,612
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,970	18,612
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年6月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年6月30日)
1. 税金費用の計算	税金費用については、一部の連結子会社においては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
投資その他の資産	5,819	5,819

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしています。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれています。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
受取手形	170,773	178,918
支払手形	104,005	141,318
その他(設備関係支払手形)	7,865	3,426

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりです。

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	65,528	60,742

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	84,420	10	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	84,420	10	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	塗料販売事業	施工事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,073,839	34,230	2,108,069	2,108,069
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,436	-	16,436	16,436
計	2,090,275	34,230	2,124,505	2,124,505
セグメント利益又は損失()	67,631	4,395	63,236	63,236

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額
 及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	63,236
全社費用(注)	84,164
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失()	20,928

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	塗料販売事業	施工事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,442,961	151,709	2,594,670	2,594,670
セグメント間の内部売上高 又は振替高	251	-	251	251
計	2,443,213	151,709	2,594,922	2,594,922
セグメント利益又は損失()	138,947	586	138,360	138,360

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	138,360
全社費用(注)	90,304
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	48,056

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しています。

これによる当第1四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微です。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(円)	3.84	0.15
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	32,499	1,309
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	32,499	1,309
期中平均株式数(千株)	8,442	8,442

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月 3日

アトミクス株式会社

取締役会 御中

監査法人 保森会計事務所

代表社員
業務執行社員 公認会計士 三 枝 哲 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 小 山 貴 久 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアトミクス株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アトミクス株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。